

「学習と部活動の両立」に取り組み、大村高校の様子をお知らせします。



大高インフォメーション

# ホップステップ JUMP!

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原1-591 TEL.0957(52)2660

<http://www.news.ed.jp/omura-h/>

保護者の方へ

メルメイトにご加入ください。



祝 全国1位!!



第17回日本物理学会Jr.セッション2021にて本村 かんささん(西大村中卒)の「落ち葉に宇宙の神秘を見る」が、見事、最優秀賞(全国1位)を受賞しました。語学部でも副部長として一生懸命活動し、忙しい毎日を送っている本村さんですが、文部科学大臣賞受賞後も論文投稿したり、モデル実験や風洞実験に取り組むなど、意欲的に活動してきました。その頑張りが今回の受賞として実を結びました。おめでとうございます。



Zoomによる審査発表を見つめるようす

## 令和3年度の開始にあたり



長崎県立大村高等学校  
校長 原 昌 紀

新入生76回生と新しく11名の先生方を迎え入れ、令和3年度が始まりました。

新学期のスタートにあたり、本校にとって大変嬉しいニュースが昨年度末から次々に届きました。文化部では、本校理科部の生徒が、日本の自然学会では最も歴史のある日本物理学会のJr.セッション(全国の中高校生が研究成果を発表する部門)において最優秀賞(全国1位)受賞、九州高等学校生徒理科研究発表大会物理部門においても最優秀賞(九州1位)受賞という快挙を成し遂げました。また、運動部では、本校漕艇部男子が、全国高等学校選抜ボート

大会舵手付きキョドブルにおいて全国3位(この種目での入賞は県勢初)という見事な結果を成し遂げました。

このように、新学期のスタートに大きな弾みをつけてくれました。本校は、「自ら気づき、考え、行動する」をテーマに、主体的で創造性のある生徒の育成をめざした教育活動を行っています。SSH効果もあり、生徒同士が互いに刺激し合いながら自らを成長させる切磋琢磨の姿勢が学習や部活動、生徒会活動と様々な場面で波及していることを実感しています。今後も更なる推進をと決意を新たにしているところです。

今なおコロナ禍は続きますが、校是「両道不岐」のもと、この勢いを止めることなく更なる飛躍の一年となるよう、職員一同精進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも本校へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 理科部 九州大会 最優秀賞!!



令和2年度 九州高等学校生徒理科研究発表大会にて、本村 かなさん(現理科部3年)(西大村中卒)の「なげ落ち葉は裏向きが多いのか」が最優秀賞(九州1位)を受賞しました。河原 正堂さん(大村中卒)、太田 誠也さん(萱瀬中卒)の班(オキヒラシノミガイについての研究)と川田 匠人さん(諫早中卒)の研究(マイクロプラスチックについての研究)はともに優秀賞を受賞しました。

この大会は、各県の発表会等で上位に受賞した班のみが出場資格を得られる大会で、非常にレベルが高いのが特徴です。1、2年生はもちろんのこと、志望校を迷っている中学生の皆さん、是非、本校理科部で活動し、先輩を越える活躍をしてみませんか?

本村さんと河原さん・太田さんの2班は、7月に和歌山県で開催される全国高等学校総合文化祭自然科学部門での口頭発表が決定しており、現在論文作成の真っ最中です。7月の大会でも素晴らしい発表を期待しています。

## 漕艇部 県勢初の銅

3月27~28日にかけて、第32回全国高等学校選抜ボート大会が静岡県浜松市天竜川漕艇場にて行われました。本校からは秋の九州大会で男女ともに3位に入賞した舵手付きオドルブルが出場しました。大会の一週間前に大雨が降ってコースが流されてしまい、予定されていた2000mの距離が半分に短縮されるというハプニングがありました。選手全員が気持ちを切り替えて本番に臨み、全力を出し切りました。その結果、男子が見事3位入賞を果たしました。これは同種目で長崎県勢初となる快挙でした。コロナ禍により無観客で開かれた大会でしたが、浜松市にお住いの同窓生から差し入れをいただくなど、物心両面で沢山の応援を頂きました。これまでチームを支えて下さったすべての方々にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。



## センバツ(甲子園) 閉会式(4/1)の司会を担当しました!

3月に卒業した放送部 山口 雄大さん(千歳中卒)が、センバツ高校野球大会の閉会式の司会を担当しました。山口さんの凛とした声が決勝戦の興奮冷めやらぬ甲子園球場に響き、いろいろな全国の舞台上で輝く大高生の「力」のひとつをあらためて実感しました。



## SSH 活動 積極的に外部発表しよう!!

SSH 指定3年目の昨年度は、積極的に外部のコンテストや発表会に応募・参加する生徒が数多く見られました。探究が少しずつ生徒の中に浸透してきた証だと思います。昨年度の3月だけでも、以下に紹介した5つのコンテストに参加しました。発表会やコンテストの情報をいち早く皆さんに紹介し、学校全体でバックアップしたいと思います。これから探究を始める1、2年生の皆さんも外部発表を目標にして活動してはいか



### ・日本物理学会 Jr.セッション

(主催：日本物理学会、共催：高文連全国自然科学専門部)

### ・WWL・SGH×探究甲子園

(主催：関西学院大学、大阪大学、大阪教育大学)

### ・CIEC 春季カンファレンス 2021 (主催：コンピュータ利用教育学会)

### ・高校生サイエンス研究発表会 in 第一薬科大学 (主催：第一薬科大学)

### ・つくば Science Edge 2021 (主催：同実行委員会)

## 第9回 数理探究科課題研究発表会

3月18日(木)、第9回数理探究科課題研究発表会が行われ、2年数理探究科(現3年生)が、1年間継続してきた理科や数学の研究成果を発表しました。研究の内容はもちろん、プレゼンテーションの技術も併せて審査されるので、各グループには緊張の表情が多くみられました。審査の結果、6月16日(水)に行われる長崎県理科高校課題研究発表大会でのステージ発表に、以下の2グループが推薦されます。

『オキヒライノミガイの生態 ～個体数、成長・生殖、行動、食性について～』太田 誠也(萱潮中卒)

『Arduinoを用いた自作機器による反発係数の精密測定』永尾 知晴(玖島中卒)、本村 かな(西大村中卒)



## 家政科活動



1月29日(金)、家政科1年生(現2年生)がアイシングクッキー講習会を行いました。講師は、諫早アイシングクッキー教室の東内由香里先生で、一つ一つの工程を丁寧にわかりやすく教えていただきました。

最初に、アイシングクリームを作りましたが、水の量によってクリームはやわらかさが変わってくるので、調節が重要でした。やわらかさの異なる3種類のアイシングクリームを描く場面によって使い分けることで、様々な模様をアイシングすることができました。シートで練習した後、実際にクッキーにアイシングをしました。先生に教えていただいた技法を用いて楽しく作ることができ、貴重な体験となりました。



# 新入生研修

4月9日(金)、12日(月)、13日(火)の3日間の日程で、新入生研修を行いました。

「大高生としての芽生え」をテーマに

- ①大高生活のルール・マナーを学び、高校生活への移行を円滑に行う。
- ②生徒相互及び生徒と職員の相互理解と親睦を深め、高校生活への希望と安心感を高める。
- ③集団行動を通し、大高生としての規律ある行動と協働の精神を育む。
- ④学びについての講話を通し、高校生としての学びの姿勢を育む。

を目的とし、様々な研修を行い充実した3日間となりました。

新入生のみなさんがスムーズに高校生活を送ってもらえたらと考えています。



# 令和3年度 入試結果

今春の卒業生は、昨年3月～5月に新型コロナの影響で授業進度に影響が出たものの、最後まで時間を惜しんで努力する姿が見られ、その結果多くの生徒が進路実現を果たしました。京都大学をはじめ、難関大合格者が増加し、後輩たちにも良い刺激を与えてくれました。

主な合格者数は以下の通りです。(過年度生も含む)

国公立大学合格者122名(内現役115名)

京都大学1名・大阪大学2名・九州大学4名・熊本大学9名・長崎大学25名 他

私立大学合格者197名(内現役193名)

青山学院大学1名・法政大学2名・関西学院大学2名・立命館大学1名 他



国公立大学合格者数推移(過去6年間)

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
現役生	136	129	140	120	129	115
過年度生	6	13	7	14	4	7
合計	142	142	147	134	133	122

# 大村高校オープンスクール

来たれ、未来の大高生!

大高の先輩たちと関わり、大村高校の魅力に触れ、疑問について解決しよう。



令和3年度

大村高校オープンスクール 7/29(木)開催

※時間や体験授業については後日お知らせします。